

プレスリリース

インドネシア・スマトラ南部の地震による津波被害に関する現地調査について

平成 22 年 11 月 2 日
国土交通省国土技術政策総合研究所
独立行政法人 港湾空港技術研究所

去る 10 月 25 日 23 時 42 分頃（日本時間）にインドネシア・スマトラ南部を震源としたマグニチュード (M) 7.7 の地震が引き起こした津波によって、多大な被害をもたらしている旨報道されています。

国土技術政策総合研究所及び独立行政法人港湾空港技術研究所では、インドネシア政府・海洋漁業省等と共同して、津波災害の専門家を現地に派遣し、緊急調査を実施することにしました。緊急調査の目的は、来襲津波とそれによる被害実態を把握し、今回の津波の特性及び被災原因を明らかにすることにより、今後の津波防災対策に資することとしております。

<派遣の概要>

- ・ 期 間： 平成 22 年 11 月 3 日出発～11 月 11 日帰国（予定）
- ・ 調査内容： インドネシア・スマトラ島西方沖ムンタワイ (Mentawai) 諸島における来襲津波及び被害状況
- ・ 調査団員：

国土技術政策総合研究所沿岸海洋研究部 主任研究官 熊谷兼太郎
独立行政法人 港湾空港技術研究所
アジア・太平洋沿岸防災研究センター 上席研究官 富田孝史（団長）
同センター 主任研究官 有川太郎

連絡先：

- 国土交通省 国土技術政策総合研究所
沿岸海洋研究部沿岸防災研究室長 根木 046-844-5024
- 独立行政法人 港湾空港技術研究所
アジア・太平洋沿岸防災研究センター事務局長
栗山 046-844-5036
企画課長 坂井 046-844-5040